

市の出来事から

岩手・宮城内陸地震からの復興着々と

12月は、岩手・宮城内陸地震の被害からの復興を象徴する2つの出来事がありました。

一つ目は、衣川区の仮設住宅



スキー場開きでテープカットをする関係者

に避難していた石生地区の4世帯17人が自宅に戻り、同区の自主避難が解消されたことです。4世帯は、地震の影響で自家裏山の斜面に亀裂が生じ、土砂崩れなどの危険が迫っていたため、20年8月から応急仮設住宅で生活を続けていました。

県が実施していた亀裂修復工事が11月30日で終了し、自宅で生活が可能となつたことを受け、12月17日、住民の代表が相原正明市長へ鍵を返しました。もう1つは、地震の影響で営

業を休止していた国見平スキーフィールドが、2年ぶりに営業を再開したことです。ペアリフトの新設整備などの場内の修復工事完了を受け、同スキーフィールドが12月19日に行われました。関係者ら約40人が参加し、神事に引き続いてのテープカットで営業開始を祝いました。

当日は、復興を祝うかのようない降雪で、数年ぶりに滑走可能な状況でのシーズン開始となりました。出席した伊藤正次市長は、2年ぶりの歓声がこだましていました。

収入役がリストのスイッチを入れると、早速、愛好家や家族連れがゲレンデに飛び出し、場内には2年ぶりの歓声がこだましていました。市の「ふるさと」CMを制作し、その内容を競うものです。本市の作品は、市の伝統である南部鉄器と岩谷堂草笛、農はだて(農作業の年中行事)を歴史講談風に紹介するユニークなもの。副賞として、年間70回の放映権を獲得しました。作品は2月から、同局で順次放映される予定です。



奥州市建設業協会(高橋健二
会長、113社)が締結する「災
害時における応急対策業務に
關する協定」の調印式が12月24日、
市役所4階市長応接室で関係者
ら7人が出席し行われました。
この協定は、大規模な災害が
発生した場合や発生の恐れがあ
る場合、同協会が公共土木工事
などの応急対策を実施するもの
です。18年8月に同協会の前身
である建設業五地区連絡協議会
と市が結んでいた協定を、同協
会の発足に合わせ再度結び直し
るものでした。

式の中で高橋会長は、「市民の財産や安全などを、当協会ができる範囲で守っていきたい」と誓い、相原市長と固い握手を交わしました。

市建設業協会と災害応急協定結ぶ

消費生活Q&A

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。

消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

過量販売は解約できます

(相談者 30代女性)

お元気ピ

簡単お弁当メニュー⑩

凍り豆腐のめり噌炒め



材料(4人分)

凍り豆腐	2枚
ニンジン	40g
シメジ	40g
万能ねぎ	20g
A=味噌…大さじ2、砂糖…大さじ1、だし汁…大さじ4	

作り方

- 凍り豆腐は水で戻し、水気を絞って3等分にして、細い短冊切りにする。Aは混ぜ合わせておく
- ニンジンは細めの短冊切りにし、シメジは石づきを取って小房に分ける。万能ねぎは細かい輪切りにする
- フライパンに油を熱し、ニンジンとシメジをいため、火が通ったらAを入れる。凍り豆腐を加えて、汁気がなくなるまでいためてねぎを散らし、軽く混ぜる
- 通常必要とされる量を著しく超える販売)や強引な販売が全國的に問題になっています。このため、規制強化を目的に平成21年12月1日に改正が行われました。この改正では、訪問販売で「いりません」などと購入

Q 先日、久しぶりに実家に帰省すると、押入れの中に新しい布団が5組もありました。半年前にも3組購入していたので、母に購入の経緯を尋ねると「訪問販売を受け『一人暮らしだし買ったばかりだかららしい』と断ったが、翌日も訪問され『うちの布団は他社とは物が違う。5組買えば安くする』としつこく勧誘され、断りきれなかつた」とのことでした。

A 事例のような「過量販売」(通常必要とされる量を著しく超える販売)や強引な販売が全国的に問題になっています。このため、規制強化を目的に平成21年12月1日に法改正が行われました。この改正是、訪問販

業者はそれ以上の勧誘ができないようになりました。また今回のように、「一人暮らしだから…」と断っている場合に「5組の布団」を勧める行為は、「通常必要とされる量を著しく超える商品などの購入契約」に当たり、契約後1年間は解約可能になりました。これはクレジット・オフと同じく、封しても使用しても、事業者は返してもらうことができます。

今回の事例では、契約解除通知を出し、商品は着払いを開始して返すよう相談者に助言しました。法律が強化されてもトラブルは絶えません。困った時はすぐ相談してください。

(本庁市民課総合相談室)



胆沢区食生活改善推進員協議会の皆さん

凍り豆腐と一緒にいためるものは、シイタケやキャベツなど、お好みの食材でどうぞ。

昨年12月17日、衣川区の仮設住宅に入居されていた4世帯の代表の方々が石生公民館に参集され、同住宅の鍵の返還が行われました。いずれも若槻姓の方々で、ようやく我が家に戻れる安堵感に満ち、晴れやかに感じました。一昨年6月の岩手・宮城内陸地震の影響で、ご自宅の裏山に長さ約1キロの亀裂が入り、土砂崩れの危険があつたため、長期の避難を余儀なくされていました。このたび県の防止対策工事が完了し、返還に至つたのです。わたしとしても心から喜ぶとともに、市内でもう一つの胆沢区の仮設住宅に入居の方々が、1日も早くご自宅で生活できるよう、全力を尽くすことを誓つたところです。

※おわびと訂正 広報おうしゅう平成20年12月号23頁の「こんなちは!市長です」の文中、「旧大須賀市」とあります。正しくは「旧大須賀町」の誤りでした。おわびして訂正します。